

第 13 回（書面審議）の結果

1. 開催概要

- (1) 日時：令和元年 12 月 19 日（木）午前 5 時から 25 日（水）正午まで
- (2) 形式：有識者を中心とした書面審議（意見提出をもって出席と見なす）
- (3) 議題：
 - (ア) 今年度のベストナッジ賞受賞者について
 - (イ) ナッジの倫理に関する検討について
 - (ウ) 地方公共団体におけるナッジの適切な活用の推進について
 - (エ) ナッジアンバサダー（仮称）の設置について

2. 審議結果

- (ア) 今年度のベストナッジ賞受賞者候補 2 件を受賞者とする
 - ・ 環境・エネルギー分野（資源循環促進）：
NEC ソリューションイノベータ（株）ほかの取組
 - ・ 職場環境・働き方改革分野（休暇取得促進）
中部管区警察局岐阜県情報通信部、関東管区警察局静岡県情報通信部の取組
- (イ) ナッジの倫理に関して検討する体制を構築する
 - ・ 日本版ナッジ・ユニット（BEST）の下に「ナッジ倫理委員会」を設置する（事務局：環境省）。
 - ・ ナッジ倫理委員会の委員長は、BEST 連絡会議委員である森祐介氏が務める。
 - ・ ナッジ倫理委員会は、ナッジ（研究段階及び社会実装段階）の実施主体が遵守すべき指針・チェックリスト・モデル規程等を策定及び改訂する。
 - ・ 環境省及び委員長は、BEST 連絡会議に検討状況等を報告する。
- (ウ) 地方公共団体におけるナッジの適切な活用を推進する体制を構築する
 - ・ BEST の下に地方公共団体におけるナッジの適切な活用の推進について検討する体制を構築する。
 - ・ 地方公共団体初のナッジ・ユニットである横浜市行動デザインチーム（YBiT）が環境省等との連携の下、主担当を務める。
 - ・ YBiT は、環境省ナッジ事業者との連携の下、以下の事項を例に必要な検討を実施する。
 - (ナ) 行動科学を活用した取組に関する方法論や課題、対応方策等の地方公共団体間における共有
 - (ツ) ナッジをはじめとする行動インサイトを活用した実証実験及び政策介入等を地方公共団体が実施する際の留意点の整理
 - (ジ) 特定の地方公共団体における行動インサイトを活用した施策の成果の他の地域・地方公共団体への波及の考え方の整理 等
 - ・ YBiT は、BEST 連絡会議に検討状況等を報告する。
- (エ) ナッジアンバサダーを設置する
 - ・ 個人の部：谷本道哉 近畿大学准教授
 - ・ 団体の部：横浜市行動デザインチーム（YBiT）